

正覚寺だより

スジジャー夕

49

平成23年(2011)

5月20日発行

増刊号

東日本大震災に思う

—— 生活様式を変えよう・もっと謙虚に ——

住職／山縣 正紀

(1)

阪神淡路大震災の時も驚いたが、今回の大震災はその比ではなかった。

まず犠牲者の方々のご冥福を祈念すると共に、被災者の方々のご苦勞そして心の痛みを察し、日本の再起再生に向けて、自分の出来る事を少しでも実行していこう。

今、日本人の多くがそう感じているに違いない。

それにしても自然の力は偉大で人間の力は小さい。当たり前のことだけど、この度、再認識させられた。

加えて原子力発電所の事故。人間が造ったモノなのに人の手で制御出来ない状態に陥っている。危険な状況下で日夜奮闘しておられる方々の安全と、一日も早い収束を願うばかりである。

(2)

スキーやボードは、コントロールする楽しさとスピードの爽快感。それに魅了されるが、技術を超えての高速滑降がケガの元になる。車もバイクも、スピードの出し過ぎが事故につながる。

我々現代人は、豊かさと便利さの追求、つまり欲のために少しスピード違反をしていないか。人間の力を過信し、あまりにも傲慢に自信過剰に陥ってないだろうか。

私達が、世界中の人々が、人を超越したものに畏敬の念を持ち、謙虚に自然と共生する生き方を真面目に考え、行動に移さなければいけないと思う。

(2ページにつづく)

法然上人 800 年大遠忌
募財のお願い



(3)

SF小説や映画には近未来の物語として、人間がサイボーグに支配され苦しめられる話が時々ある。労働などを肩代わりさす目的で人間が造り出したロボットであるサイボーグが、知性や感情を持ち人間を越え、コントロール出来なくなってしまうストーリーだ。今の原発の姿を見ていると、そんな事を思い出してしまう。

体外受精、代理出産、遺伝子操作など医学の発達は素晴らしいが、本来は授かるはずの命を人が操作するのは、人智を超えたものを冒涇ほうとくしているようで怖い。驕り高ぶりはないか不安を感じる。

宇宙開発。私達は天気予報や地図、GPSなど多くの恩恵を受けている。将来は地球以外の星で人類が生活する。また、他の星から地球に資源を運んでくる・・・など。夢とロマンのある話だ。

だが、恐らく環境を大いに破壊しゴミを宇宙にばらまく開発に、不安を感じるのは私が宇宙に関して素人だからだろうか？

人、物、金の都市への集中、何層もの深い地下への構造物、雲を貫く程高層へ伸びる建造物、繁栄の象徴のように見えるが実は危あやういのではないか。

技術的には可能でも、すべきでない事もある。

(4)

この度の震災を目の当たりにした私達世代が、今までの生活様式を少し変えて行こう。

今まで通り原発を推進出来るとは思えない。じゃあ電力消費の少ない大正時代にでも戻るのか？それも不可能だ。

しばらくは原発の安全性を高める処置をしながら使い、次世代エネルギーの開発を急ぐ事になるのだろう。つまり、当分電力不足が続くということである。

- 自動販売機、あんなに沢山はいらない。
- 自動ドアじゃなくてもいい。
- 便座ぐらい手で上げよう。
- 深夜のコンビニは明るすぎやしないか。
- 今年のクールビズは上着も脱ごう。
- 暑い夏は会社でも昼寝しよう(笑)

そんな国もあるらしい。

わずかな事かもしれないが、少し変えてみよう。

「不便や不自由も楽しむ」

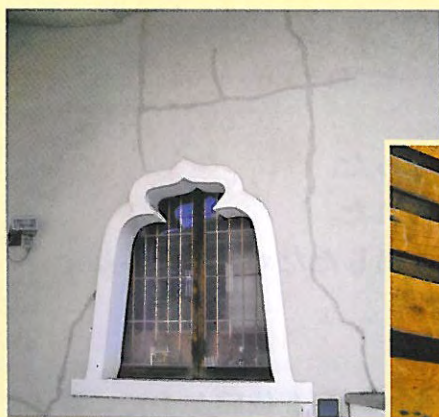
という目線で生活全般を見渡せば、出来る事がまだまだ色々ありそうだ。



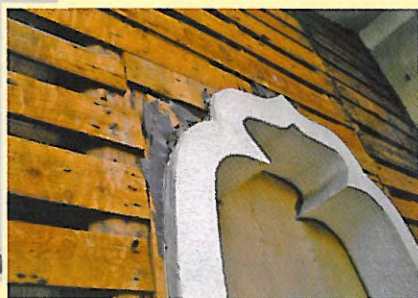
自転車で移動出来るぐらいを普段の生活圏にし、その中で地産地消、車もなく小路ですれ違う人とは誰もが挨拶を交わす。そんな時代の方が幸せだったのかもしれない。

これからも幸せな時代であるように、スピード違反を改め、智者の振る舞いをしないで謙虚さを取り戻そう。

法然上人 800 年大遠忌 境内整備の様子



▲地震後、応急修理していた本堂外壁 (写真1)



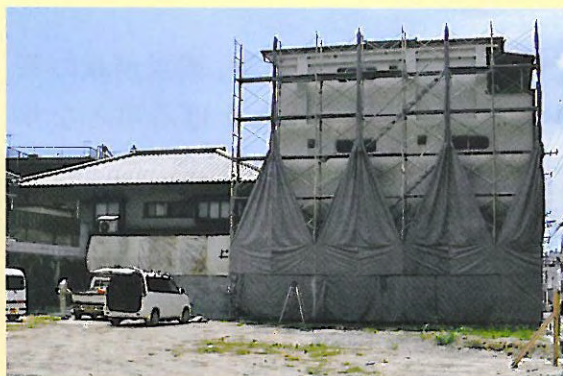
▲モルタルを剥離、下地から塗り替え (写真2)



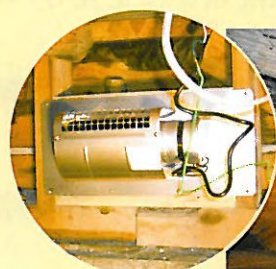
▲モルタルを剥離前



▲東側の民家が解体され露出した戦前からの土堀



▲北側にマンションが建つ事になったので急遽、更地の間に4階まで防水再塗装する (写真5)



※床下換気扇を6台設置



▲本堂のシロアリ被害 (写真4)



▲本堂前アプローチコンクリート張り替え工事 (写真6)



▲傷んでいた本堂前アプローチ (写真7)



▲本堂床下補強工事 (写真3)

法然上人 800 年大遠忌 募財のお願い

今年、私達の浄土宗を開かれた法然上人の 800 年大遠忌を迎えました。

総本山知恩院を始め全国の浄土宗寺院では、法然上人の威徳を偲び各種の記念事業が行われています。

当山正覚寺では、檀信徒の皆さまに募財をお願いした後、今年完成に向け建物内外の補修整備を考えておりました。しかし種々の状況により痛んだまま放置することが出来なくなり、予定より数年早く着工して既に完成しております。(補修整備の内容は 6 ページに詳しく記載してあります。)

種々の状況とは下記のような事などです。

- 1) 芸陽地震による建物被害を、応急修理のまま放置出来なくなった。
- 2) 本堂にシロアリ被害が確認され、急いで対処する必要に迫られた。
- 3) 東側、北側の隣接の民家二軒が解体され、古い土塀などが露出したため補修せざるを得なくなった。など

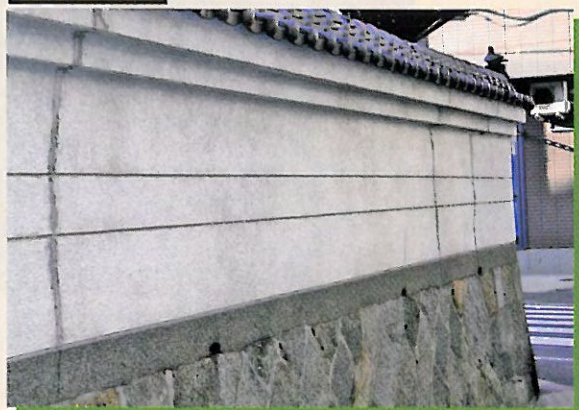
また総本山知恩院からは、国宝大殿などの大修復と記念事業への寄進依頼がすでに数年前に届いていましたが、昨今の厳しい経済状況などを考え募財実施を見送っておりました。

しかし、いよいよ 800 年大遠忌の年を迎え住職、総代と協議を重ねた結果、同封別紙の募財要項のように総本山知恩院並びに正覚寺への浄財寄進のお願いを申し上げる事となりました。

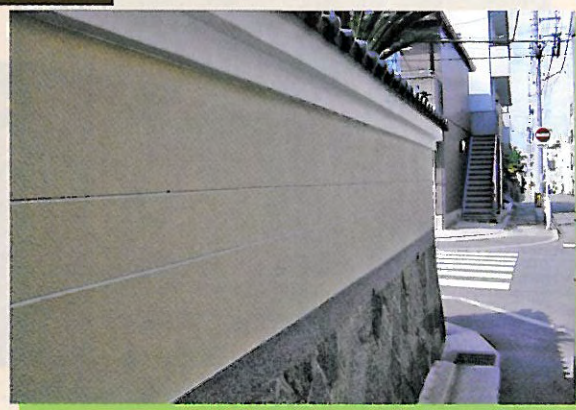
震災の影響などもあるこの時期に、誠に恐縮ですが何とぞ応分のご協力を頂ければ幸いです。

浄土宗 正覚寺 住職 山縣正紀
 総代 宮本文博 橋本孝則
 田坂浩平 若本祐昭

Before



After



地震後、応急修理で対応していた境内内外の瓦塀のすべて、モルタルを剥離し下地から塗り替え (写真 8)

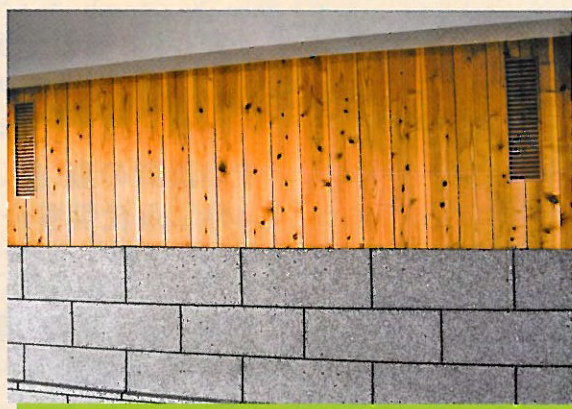
Before



After



今まで見えなかった古いブロック塀が、北側の民家が解体されて露出したので補修・塗装（写真9）



湿気のため汚れていた駐車場壁面を杉板を使って化粧直し（写真10）

とても綺麗になりました



▲綺麗になった本堂正面



▲内装が一新された地藏堂（写真11）



▲本堂に設置されたエアコン（写真12）



▲仏前の花を用意する作業台（写真13）

建物内外補修整備状況

本堂	屋根瓦の葺き替え エアコンの設置 <small>写真 12</small> シロアリ被害の消毒、床下材の補修補強の木工事 <small>写真 3,4</small> シロアリ対策の床下換気扇、床下空気攪拌機の設置 外壁の亀裂したモルタルを剥離、下地からの塗り替え <small>写真 1,2</small> 内装の亀裂補修再塗装、クロス張り替え <small>など</small>
地蔵堂	湿気対策として壁を二重に 天井、床タイルを一新 棚、入口ドアの再塗装 <small>写真 11</small> <small>など</small>
鉄筋建物	1階から4階の北側壁面を防水再塗装 <small>写真 5,9</small> 室内壁面の亀裂補修塗り替え 1階駐車場の天井亀裂補修再塗装、壁面湿気対策で二重に <small>写真 10</small> 2階座敷の畳、壁、天井、照明器具など内装一新 4階に永代供養合同墓の新設 <small>など</small>
庫裡	シロアリ対策の床下換気扇、床下空気攪拌機の設置 玄関、洗面所周り壁の塗り替え 表座敷応接室カーペット張り替え <small>など</small>
外回り	道路面の瓦塀、一部瓦葺き替え 亀裂補修、現況モルタル剥離、下地からの塗り替え再塗装 <small>写真 8</small> 境内の瓦塀再塗装 本堂前のアプローチ、コンクリート張り替え <small>写真 6,7</small> 墓地排水工事 <small>など</small>
その他	境内3ヶ所に防犯カメラの設置 土間の流し台新調、作業台新設、壁面を補修板張り <small>写真 13</small> <small>など</small>

義援金へのご協力ありがとうございました

境内3ヶ所に義援金箱を設置したところ、1ヶ月間で61,585円の善意が寄せられました。さっそく中国新聞社へ「正覚寺参詣者一同」として送らせて頂きました。

また別に「正覚寺」としては、浄土宗と中国新聞社にそれぞれ10万円ずつ合計20万円を義援金として送りました。いずれも日本赤十字社へ集計され被災者の元にお届けします。

浄土宗の救援、寺院・関係団体による支援活動については、次号でご報告いたします。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ／0823-21-6086 Eメール／shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX／0823-22-9922 郵便振替／01300-5-13754 口座名／浄土宗正覚寺